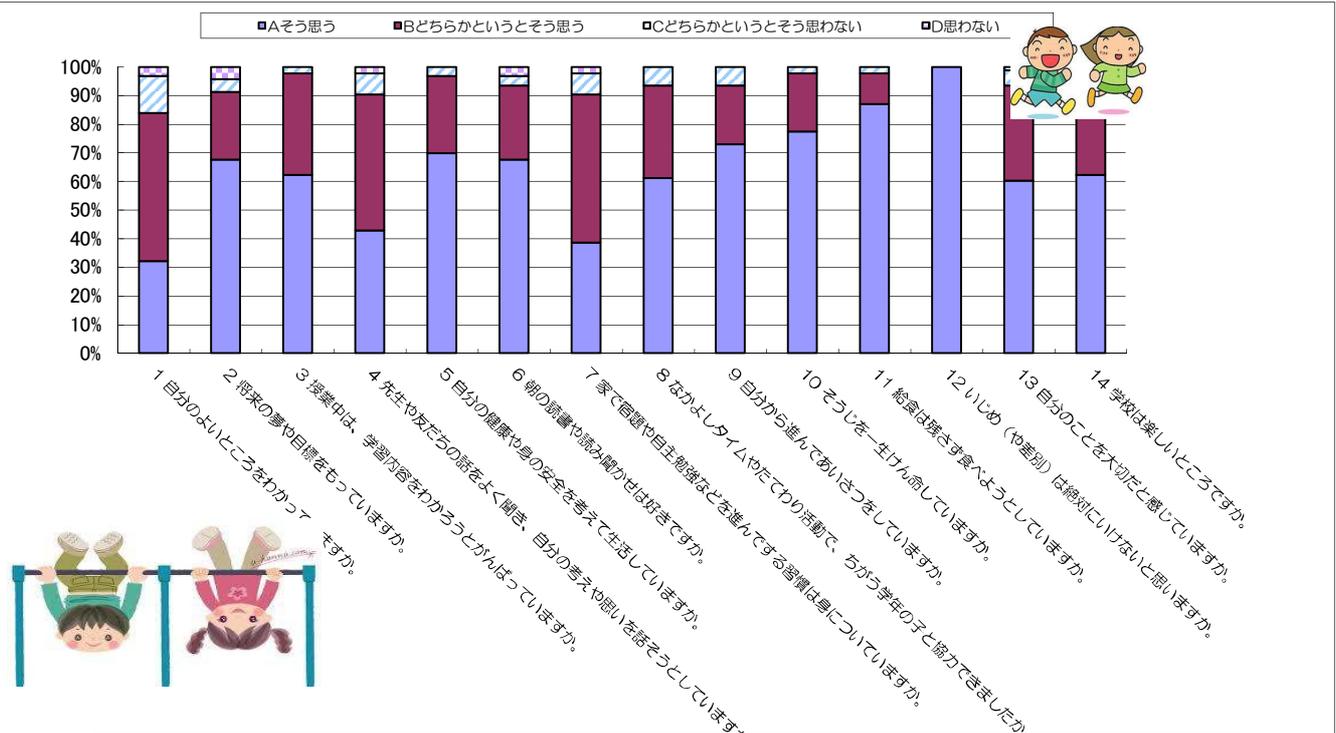


児童アンケート（4～6年生）の結果より



考察【児童アンケート 4～6年生】

- 「学校は楽しいところか」の問いには、4年生以上の98.9%が肯定的に答えました(昨年度と同値)。ほとんどの児童が楽しく学校に通っているのはうれしいことです。全員が楽しいと感じることができるよう、一人一人の思いに寄り添った取り組みを更に進めてまいります。
- 学習に関しては、97.8%の児童が「授業中、学習内容をわかっていこうとがんばっている」と回答しています。これも昨年度と同値でしたが、「先生や友だちの話をよく聞き、考えや思いを話そうとしているか」に肯定的な回答をした児童は、昨年度を4.2ポイント下回る90.3%でしたが、積極的に学習に参加しようとする様子が見えてきます。「家で宿題や自主勉強などを進んでする習慣が身についているか」についても90.3%でした(昨年並)。保護者アンケートの結果でEをのぞいた値91%とほぼ同じです。子どもたちは頑張っていますが、基礎学力の定着に家庭での復習は大変効果的です。引き続きご家庭でも声かけと励ましをよろしく願います。
- 「朝の読書や読み聞かせは好きか」については、昨年と同様93.5%が肯定的です。3年生以上で始まった朝の短時間学習や、家庭でのゲームや動画サイト等の普及で読み聞かせや読書の時間等が取りづらい背景もありますが、学校では図書ボランティア(読み聞かせ)でお世話になっている皆様のご協力や学校図書館司書とともに本に親しむ機会を確保していきたいと思えます。ご家庭においても、親子読書等、本に親しむ機会を設けていただければと思います。
- 「将来の夢や目標をもっているか」については、91.4%の児童が肯定的な回答で、昨年度より4.4ポイント上がりました。今年から新たに加えた「自分のことを大切に感じていますか」については、93.5%が肯定的に回答しました。数名ですが否定的な回答があるのが気になります。児童が「自分のよさ」(83.9%、昨年比4ポイント減)や得意なことを自覚し、自己肯定感を高めたり、夢や目標を持てるよう、適切な励ましや評価を行い、目的意識をもって主体的に学校生活を送ることができるようになっていくとともに、キャリア教育の視点からも日々の教育活動をとらえていきたいと考えます。
- 「いじめ(や差別)は絶対にいけないと思いますか」について、肯定的意見は100%でした。しかし現実的にはいじめや差別につながるような言動があり、日々指導を行っている状況です。児童の実態把握に努め教育相談等を充実するとともに、「自分から進んであいさつをしている(93.5%、昨年並)」など人とのつながりを大切にしたり、正しいと思うことを行動できる仲間づくりや、道徳・人権教育のさらなる充実を図ってまいりたいと考えます。
- 「なかよしタイムなどの活動で、ちがう学年の子と協力できたか」には93.5%が肯定しています(2.1ポイント減)。行事だけでなく、登下校やクラブ活動、掃除の時間など様々な場面で低学年に優しく接したり、一所懸命取り組もうとする高学年の姿が見られます。「掃除を一生けんめいしている」との回答(97.8%、微増)とともに、集団での活動を協力して取り組もうとする本校児童のよさだととらえています。
- 「給食は残さず食べようとしているか」の問いには97.8%が肯定しました(2.2ポイント減)。また「自分の健康や身の安全を考えて生活しているか」は、4.2ポイント増の96.8%(昨年並)でした。好き嫌いなく食べるとともに、早寝早起きなど健全な生活習慣を心がけ、安全に注意した遊びや登下校を行うなど、心身の健康や命を守ることの大切さについて今後も大切にしていきたいと思います。